



春日部東中学校だより



学校教育目標「夢と生きる力を育む」

夢をもつ生徒・感謝できる生徒・意欲のある生徒・協力し合う生徒・責任を果たす生徒

「不易流行」～基礎を重んじ、そして進化を～

校長 三浦 力

時は「霜月」となりました。「霜月」は「霜降月」のことで、稲刈りの終わった田を見つめ、やがて厳しい寒さがやってくる覚悟を決める時期を言います。しかし、未だに汗ばむ日中と朝晩の冷え込みで体調を崩し易くもなりますので、体調管理もお願いいたします。



さて、過日行われました東中祭においては、素敵な合唱をありがとうございました。仲間と担任と大事な時間を創り上げた感じ、とても感動しました。歴史ある学校には伝統と文化が栄え、学校は輝きを増していきます。地域の皆様、保護者の皆様のお力添えに感謝する毎日です。

かの松尾芭蕉は『奥の細道』の旅の間に「不易流行」という概念を体得したと言われています。「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新ならず」、不易の心理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がないという意味です。学校は歴史を重ねる度に、このことを心に刻まなければなりません。「不易」とは、すなわち世の中がどんなに変化し、状況が変わっても絶対に変えられないもの、変えてはいけないものを言います。学校は歳月が築いた「不易」で満ちています。教育の心肝は変わらないものであると考えます。「不易」が基礎を築くこととしたら、礎がしっかりしていなければ物事の寿命は短い、という教えのようにも思えます。しかしながら、よくよく周りを見渡すと、社会の状況の変化に従って、どんどん変わっていくもの、あるいは変えていかなければならない「流行」にも目をやらなければならない瞬間も訪れます。

東中学校に根付いた伝統と文化に基づいた教育活動を推進するとともに、見直し、精査し、新たな取組を進めていかなければと思っています。さらに、芭蕉は「しかもその本（もと）はひとつなり」と続けています。つまり「不易」「流行」は別のものではなく、その根はひとつなのだということでしょう。学校や家庭に置き換えれば、「守っていくもの」と「変化させていくもの」は相反するように思えますが、子供を育てるという熱意や方向性に何ら変わりはなく、工夫や知恵はひとつということだと考えます。

慣れに溺れてはいけない、奢ってはいけない、そんな先人の教えが、高くなった秋の空から降りてくるように感じます。人の意見をよく聞き、自分の基礎となる教えを守り、人は成長していくのだらうと思います。自分への戒めも込めて言葉にします。「不易流行」～基礎を重んじ、そして進化を～。今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

日	月	火	水	木	金	土
	11月				1 4時間授業 全校面談④	2
3 文化の日	4 振替休日	5 4時間授業 全校面談⑤ 社会体験学習(1年)	6 全校朝会 4時間授業 全校面談⑥ 社会体験学習(1年)	7 市内音楽祭 受験用証明写真 撮影(3年)	8 生徒朝会 5時間授業	9 資源回収日 幸松ふれあい 文化祭
10 幸松ふれあい 文化祭	11 東部地区テスト (3年)	12 授業研究会(午後)	13 専門委員会	14 県民の日	15 クレジット講演会 (3年)	16 土曜参観 3時間 給食なし
17	18 振替休日	19 期末テスト①(3年)	20 期末テスト②(3年)	21 ふれあいデー	22 5時間授業	23 勤労感謝 の日
24	25	26	27 期末テスト① (1・2年)	28 期末テスト② (1・2年) 部活再登校15:55	29	30



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 表彰朝会	4 春日部特別支援学校 交流会(789組)	5	6 3時間授業 新入生入学説明会	7
8	9	10 3年三者面談① (希望制)	11 専門委員会	12 3年三者面談② 1年保護者会	13 3年三者面談③ 2年保護者会	14 資源回収日
15	16 3年三者面談④	17 4時間授業 3年三者面談⑤	18 4時間授業	19 4時間授業	20 4時間授業 給食終了 ふれあいデー 完全下校13:45	21
22	23 3時間・大掃除・下校 給食なし	24 終業式	25 冬季休業日 (~1月7日)	26	27	28
29	30	31				



☆先月行われた東中祭に、多くの方にご来場いただきました。ありがとうございました。
★11月16日には土曜参観があります。ぜひ、お子様の学校での様子をご覧ください。